



大船山

「回復」のためのゴールデンウィークに

校長 細江 幸次

先日の授業参観、PTA総会には多数の方にご来校いただき、ありがとうございます。各学級には学級目標が掲げられ、それに基づく担任からの意気込みが語られたことと思います。学校としても保護者の皆様のご期待に応えることができるよう、職員一同一丸となって頑張っていきます。

クラス替えがない上矢作小でも4月は入学・進級とともに新しい担任になるので、気分もいくらか新鮮になり、前向きに物事を考えるようになるものです。子どもたちの学校生活の大半は授業であることもあって、「頑張りたいこと」「頑張ること」の多くに学習に関わるめあてが出てきます。



授業参観 1,2年生



3,4年生

めあてや目標は自分の現在地をよく確認した上で、「ほんの少しの背伸び」と「ほんの少しのジャンプ」で手が届きそうなものであるとき、やる気と努力の継続ができていると思います。しかし、やり続けることというのは案外難しいことで、ゴールデンウィークを迎える今頃に心身の疲れの第一波が来るのではないのでしょうか。その観点から、これから迎えるゴールデンウィークは誰にとっても有意義な休みであってほしいと願っています。

「休息とは回復であり、何もしないことではない」という言葉を私はよく使いますが、せっかくのまとまった休みを何か有意義なことに使うことができたらいいなと常々思っています。「ここでいう「回復」とは様々な意味合いを含んでいると思います。

- ①「疲労」からの回復・・・生活のリズムを整えて、規則正しい健康的な生活を送り、気力・体力を取り戻す。
- ②「遅れ」からの回復・・・当初考えていた「これだけ頑張ろう」と思っていたところまで取り返し、再開に備える。
- ③「多忙」からの回復・・・普段やりたいと考えていてもなかなかできなかったことにじっくり取り組む。

他に私が考え付かない「回復」があるかもしれません。

今年度、PTA活動の重点目標として「家庭学習」を取り上げていただきました。全校集会、PTA総会でお伝えしたように、誰にでも手軽に活用できる学習素材として「キュビナ」を有効活用していきたいと考えています。子どもたちの励みとなるように「キュビナがんばり賞」を一人でも多くに渡すことができたらいいなと思います。また、家庭学習の意味をもっと広くとらえて、

普段読めないような厚めの本をじっくり読んだり、絵を描いたり、裁縫や料理に挑戦してみたり・・・ということもゴールデンウィークならではの取組だと考えています。ぜひ、柔軟な発想で家庭学習に取り組んでみて下さい。



授業参観 5年生



6年生